



# おカネを借りるために 知るべき銀行の理屈

## ①把握するべき自社の状態

### 中小企業活力向上オンラインセミナー 財務管理 分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



# おカネを借りるのに失敗する理由

▶ 様々な原因があるが、一番大きいのは相互理解の不足



社長

うちはいい会社です。  
カネを使えば必ず利益が出て返せます

この話では  
いい会社か分からない。  
必ず利益が出て返して  
もらえるか不安だ



BANK



# 資金調達失敗についての経済理論

- ▶ おカネの貸し手は、借り手の実態を知ることが難しく、借り手が正確に情報提供しているかわからない

## ✓情報の非対称性理論

売り手は商品の詳細な情報をもっているが、買い手は購入するまで商品の品質を知ることができない

⇒中小企業の資金調達では、借り手の質や借りた後の行動を、貸し手が正確にモニタリングすることが難しく、貸し手と借り手の間に「情報の非対称性」が生じる

⇒円滑におカネを借りるためには、【相互理解】を深めることで「情報の非対称性」を緩和することが必要不可欠



# 相互理解を阻む両者の原因

➤ 中小企業、銀行それぞれに相互理解を阻む原因がある。  
相互理解に向け自社の原因を解消したい

## ✓ 中小企業側の原因

- 自社の状態を把握していない
- 銀行の理屈を知らない
- 自社の都合だけで話している

## ✓ 銀行側の原因

- ✓ 中小企業の事業を理解していない
- ✓ 担当ラインの力量不足
- ✓ 貸し手としての傲慢



# 把握すべき自社の状態

➤ 3つだけ最低限押さえておく

- ① 損益、キャッシュフローは返済できる水準か
- ② 純資産は赤字になった場合も債務超過にならないか
- ③ 事業計画は可視化されているか

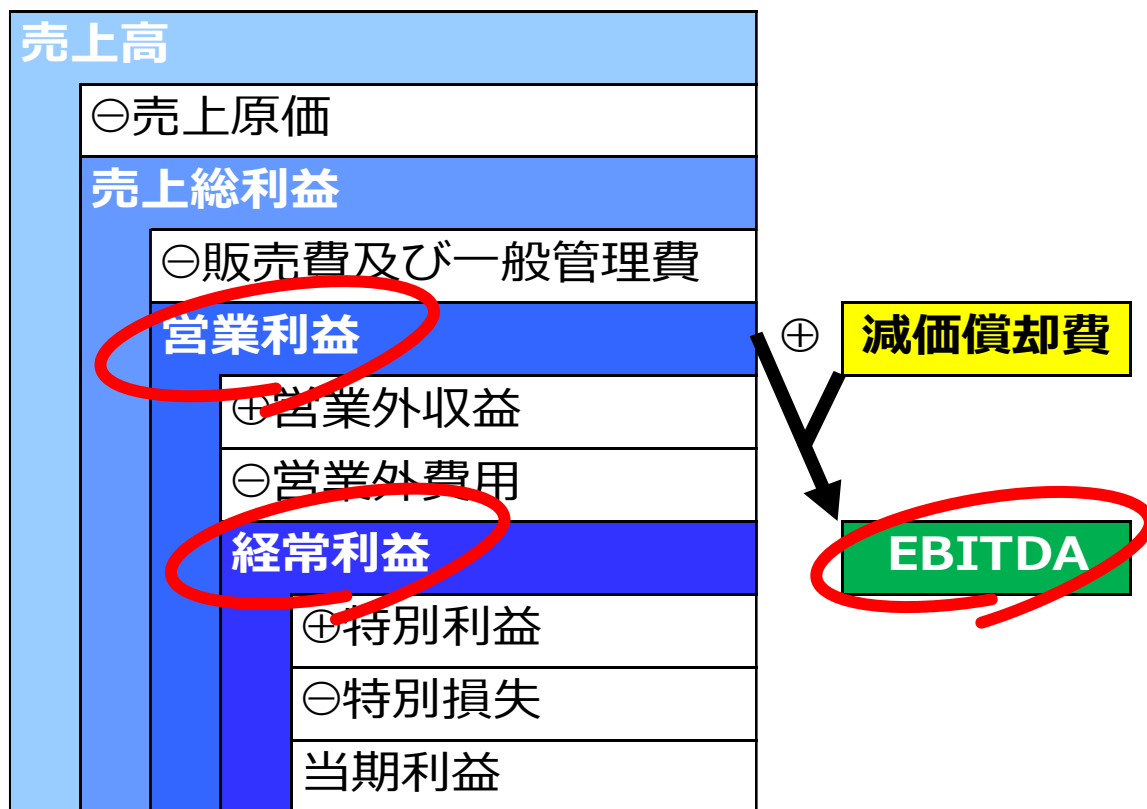


# 3つの利益の意味

- 営業利益は商売のみの儲け
- 経常利益は利払い後の儲け
- EBITDA  
(償却前利払前税引前利益)  
はキャッシュフロー

## 損益

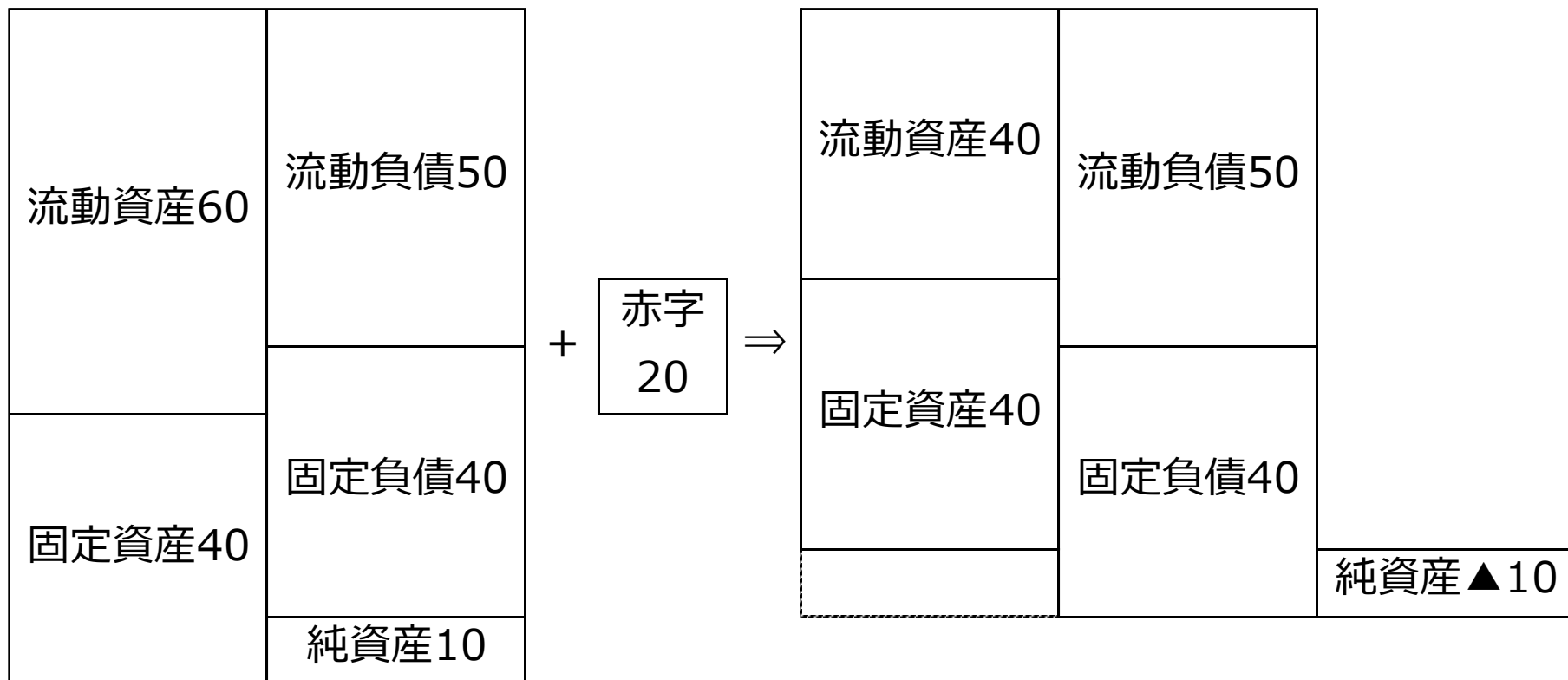
## キャッシュフロー





# 債務超過は資産 < 負債の状態

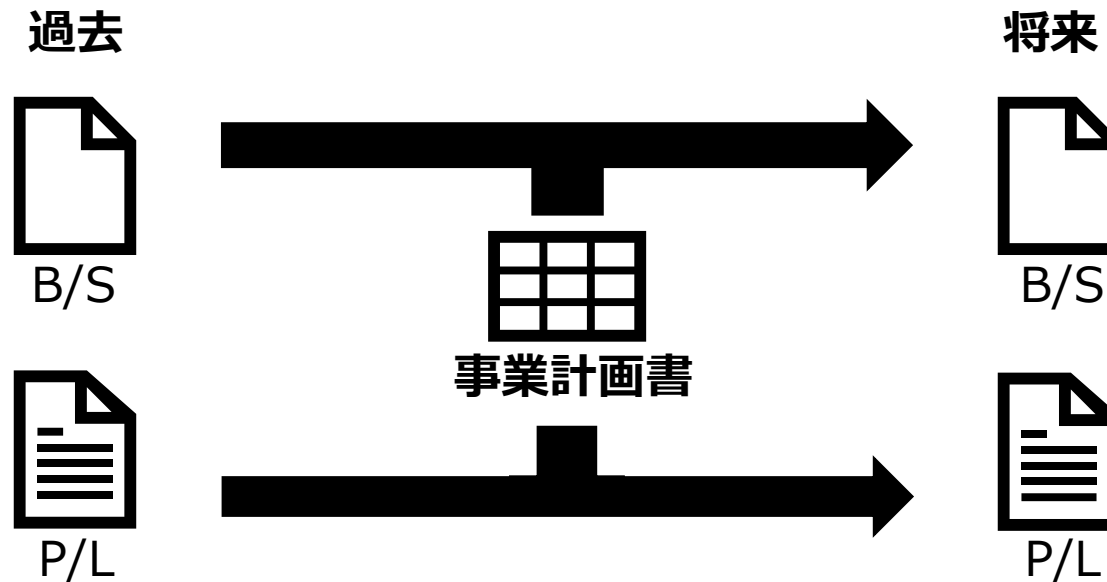
➤破綻が懸念される状態で銀行は融資できない





# 事業計画は可視化されているか

- 事業計画書があれば将来のB/S、P/Lも見えてくる







# ①まとめ

## ➤把握すべき自社の状態

- ① 損益、キャッシュフローは返済できる水準か
- ② 純資産は赤字になった場合も債務超過にならないか
- ③ 事業計画は可視化されているか